

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

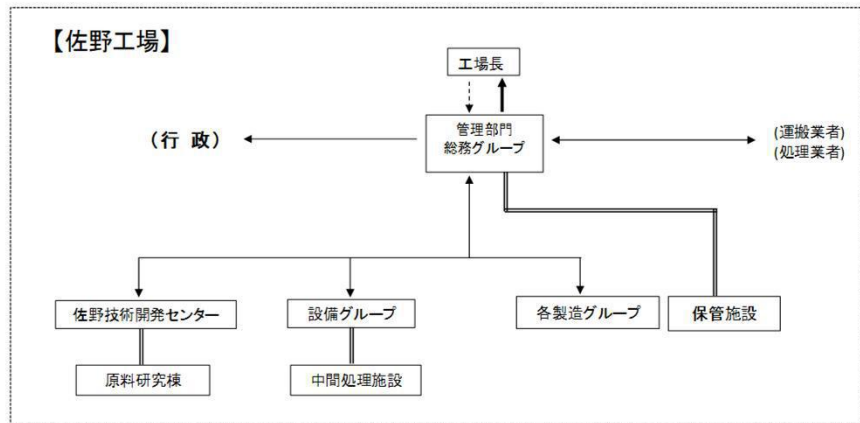
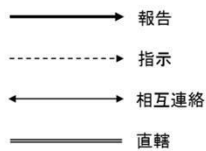
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月7日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府泉佐野市松原3丁目4番38号 氏 名 (株)日本ネットワークサポート 佐野工場 工場長 福井 隆行 電話番号 072-464-5881	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)日本ネットワークサポート 佐野工場
事業場の所在地	大阪府泉佐野市松原3丁目4番38号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	製造製品出荷額：127,659万円（2023年度 実績）
③従業員数	73名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①、別紙②、別紙③のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「産業廃棄物管理体制図」



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物の大半を占める汚泥の発生箇所、発生状況について現状分析を行い、減量化の可能性を検討し、産業廃棄物の減量化に努めている。		
②計画	【目標】別紙⑤のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・発生抑制を考慮した製造方法の検討。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・無機性汚泥(A1)・ガラスくず(A2・A3)・汚泥(A4)・陶磁器くず(A5) ・廃油(A8)・管理型建設系混合物(A9)・廃アルカリ(A10)・汚泥(A11) ・廃プラスチック(C6・C7・C13)をそれぞれ分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物を自ら再生利用していない。		
②計画	【目標】別紙⑤のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・再生利用の可能性を検討する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・排水処理施設の定期点検を行い、汚泥の脱水効率が下がらないように維持している。		
②計画	【目標】別紙⑤のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・上記事項を継続実施していく。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

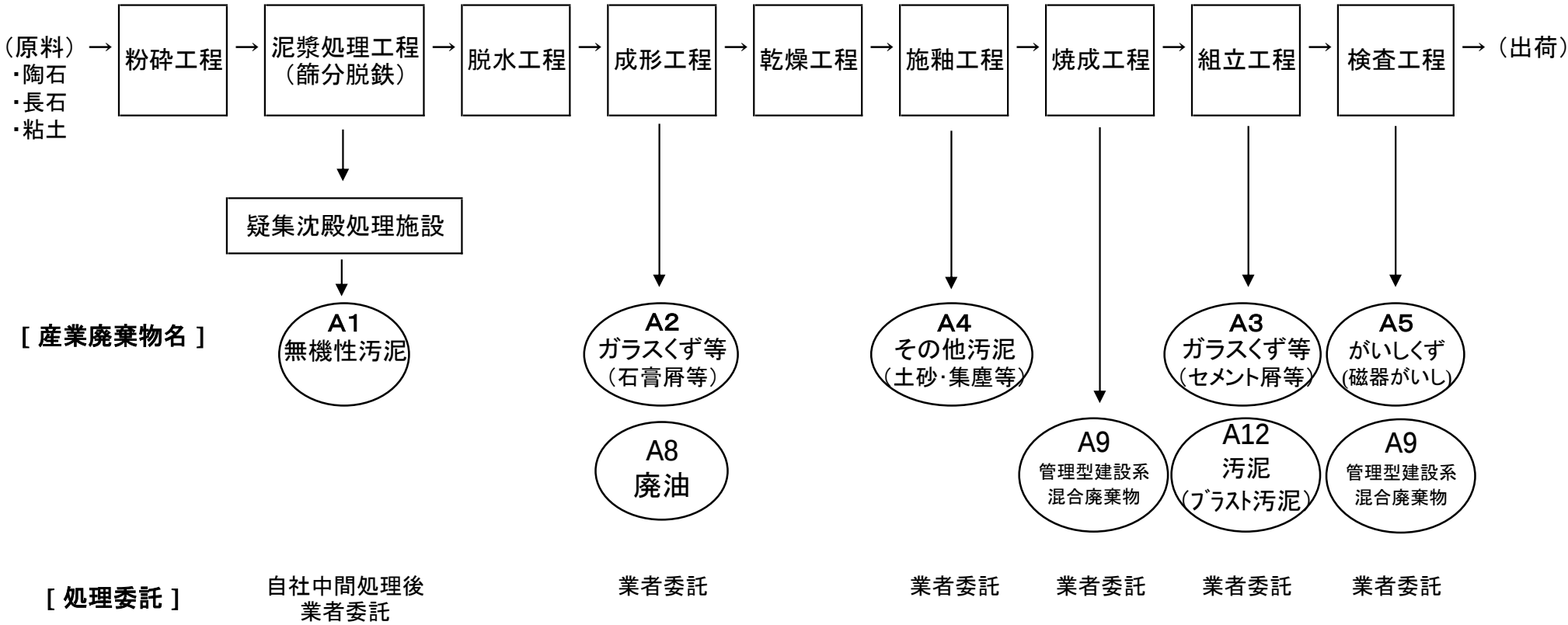
①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】別紙⑤のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】別紙④のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
		t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物情報ネット等を参考に、委託基準を遵守している産業廃棄物処理業者を選定している。		

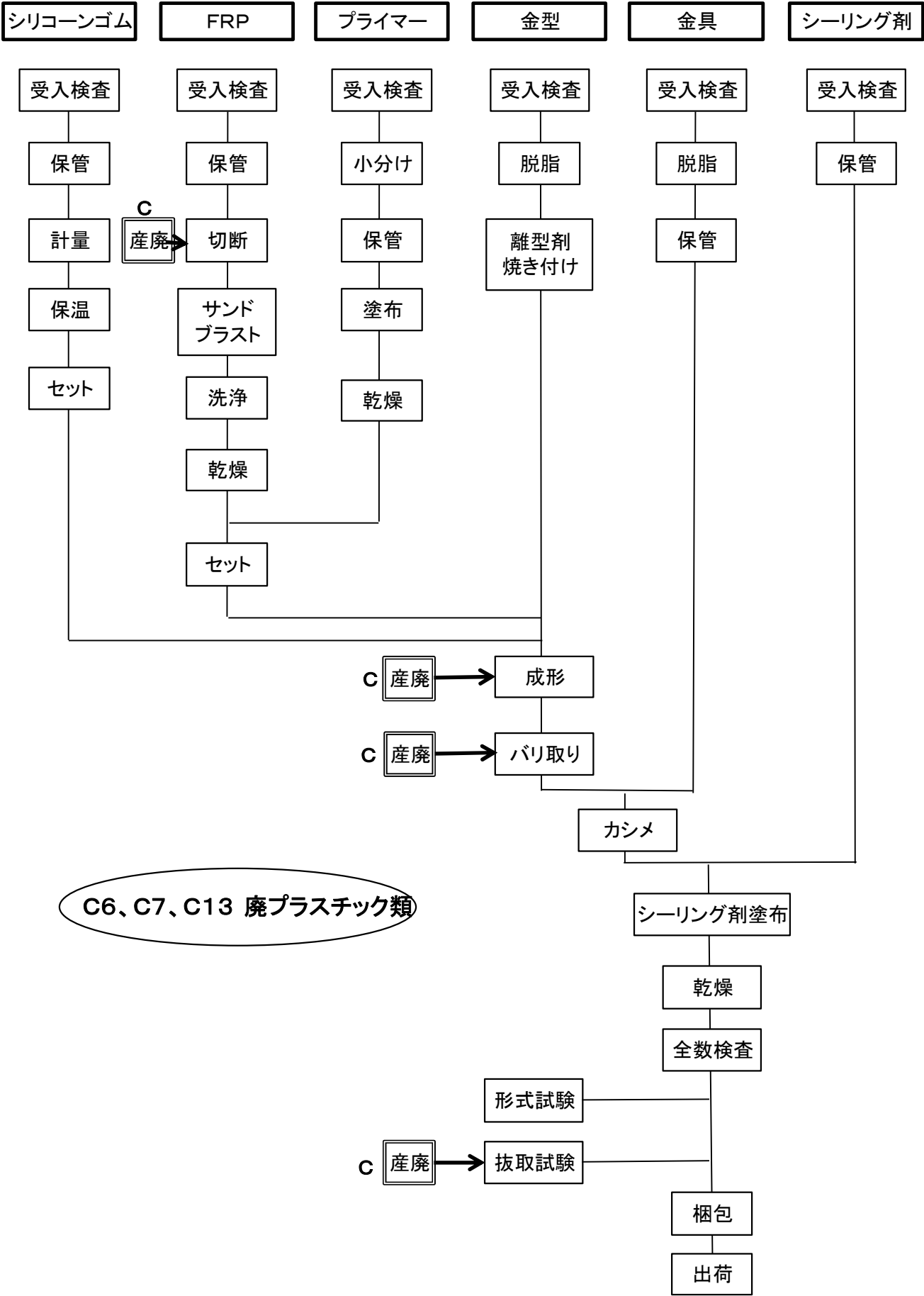
②計画	【目標】 別紙⑤のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引続き、産業廃棄物情報ネット等を参考にし、優良認定処理業者を選定する。		
※事務処理欄			

磁器磚子製造工程 別紙 ①



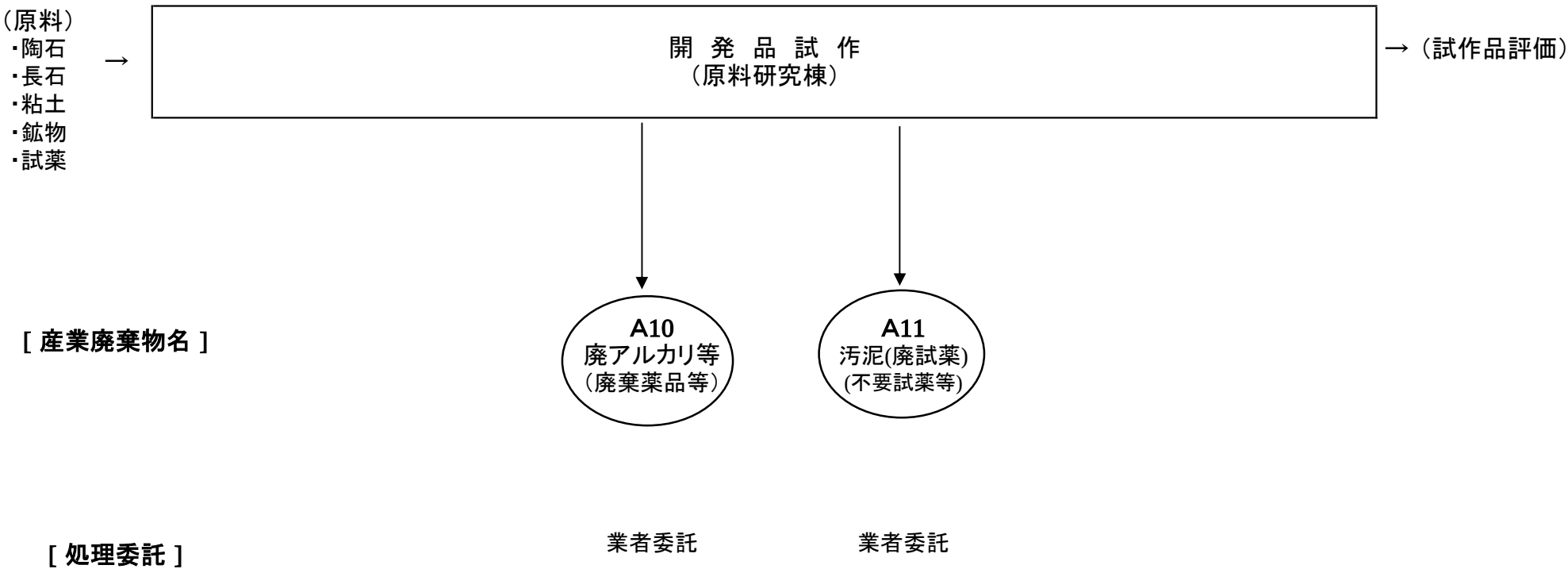
ポリマー碍子製造工程

別紙 ②



研究開発工程
(佐野技術開発センター)

別紙 ③



撰 出 者					
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号
大阪府泉佐野市松原3-4-38	㈱日本ネットワークサポート 佐野工場				

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										(注＝①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)						②+⑧	③+⑨
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分					⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	②+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った量(t)
												⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処 理委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)			
コード	名 称											⑫の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑬、⑭を除く)	⑬の量のうち、認定熱回収 施設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者以 外の熱回収を行っている処理業者への焼 却処理委託量	⑮の量のうち、委託 して焼却等の中間 処理した量(⑯～⑰ を除く)	⑯の量のうち、直接 委託して埋立て最終 処分した量	⑯の量のうち、優良 認定処理業者への委 託処理量	②の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)	③の量と⑨の量を 合計したもの(自動 計算)
1	0220 無機性汚泥 A1	5,087			5,087		509	4,578		509	509							0	0
2	1300 ガラスくず等 A2	63						0		63						63		0	0
3	1300 ガラスくず等 A3	21						0		21						21		0	0
4	0200 汚泥 A4	40						0		40						40		0	0
5	1320 陶磁器くず A5	26						0		26						26		0	0
6	0600 廃プラスチック類 C6	1						0		1						1		0	0
7	0600 廃プラスチック類 C7	0.5						0		0.5						0.5		0	0
8	0300 廃油 A8	0						0		0							0	0	0
9	2020 管理型建設系 混合廃棄物 A9	95						0		95						95		0	0
10	0500 廃アルカリ A10	0.3						0		0.3						0		0	0
11	0200 汚泥(廃試薬) A11	0.6						0		0.6						0.6		0	0
12	0200 汚泥(プラスト汚泥) A12	1						0		1						1		0	0
13	0600 廃プラスチック類 C1 3	0.5						0		0.5						0.5		0	0
14								0		0								0	0
15								0		0								0	0
16								0		0								0	0
17								0		0								0	0
18								0		0								0	0
19								0		0								0	0
20								0		0								0	0
合計		5,334	0	0	5,087	0	509	4,578	0	0	755	509	0	0	121	125	95	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【2024年度】目標別紙⑤

提出者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府泉佐野市松原3-4-38	㈱日本ネットワークサポート 佐野工場					

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残き量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	(⑪＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑩+⑬+⑭+⑮+⑯)					⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑫自ら再生利用 を行った量(t)	⑬+⑭ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量(t)
コード	名 称											委託先による区分	⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処 理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)		
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら中 間処理した産業廃棄 物の当該中間処理前 の量	④の量のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理を行っ た後の量	④の量から⑥の量 を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑪、⑫除く)	⑩の量のうち、認定熱回収 施設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施 設設置者以外の熱回収を行っ ている処理業者への焼却 処理委託量	⑩の量のうち、委託 して最終等の中間 処理した量(⑭～⑮ を除く)	⑩の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑩の量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	⑫の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)	⑬の量と③の量を合 計したもの(自動計算)
1	0220 無機性汚泥 A1	4,934			4,934		493	4,441			493	493						0	0
2	1300 ガラスくず等 A2	63						0			63					63		0	0
3	1300 ガラスくず等 A3	21						0			21					21		0	0
4	0200 汚泥 A4	40						0			40					40		0	0
5	1320 陶磁器くず A5	25						0			25				25			0	0
6	0600 廃プラスチック C6	1						0			1				1			0	0
7								0			0							0	0
8								0			0							0	0
9								0			0							0	0
10								0			0							0	0
11								0			0							0	0
12								0			0							0	0
13								0			0							0	0
14								0			0							0	0
15								0			0							0	0
16								0			0							0	0
17								0			0							0	0
18								0			0							0	0
19								0			0							0	0
20								0			0							0	0
合計		5,084	0	0	4,934	0	493	4,441	0	0	643	493	0	0	26	124	0	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。